

広報



かわにし

平成4年 10/10 No.410

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
(FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 10月1日現在 —	
男	4,384 (-4)
女	4,464 (-5)
計	8,848 (-9)
世帯数	2,214 (+2)
()は前月比較	



「祭りだワッショイ」 みこしが通りを練り歩く

— 9月6日 —

9月5日～6日と、千手祭りが実施されました。
祭りの呼び物は、なんとといっても5日の大花火大会と、5日～6日に練り出される数々のみこしではないでしょうか。
この日も、それぞれの町内会で工夫されたみこしが千手地区の通りを練り歩き、老若男女が一つになって燃えました。

☒ 休日救急医

10月10日	大島医院(川原町)	☎ 52-2957
11日	山口医院(下条)	☎ 55-2003
18日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
25日	池田医院(本町西)	☎ 52-2581
11月1日	国保診療所(中央町)	☎ 68-2034
3日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
8日	庭野医院(寿町)	☎ 52-2711
15日	中条病院(中条)	☎ 57-3018

議会報告

どう取り組むか町のリゾート

上村 広治 議員

「マイライリゾート新潟」の特定地域としての町のリゾート構想のあり方について
 (1) 今後の町のリゾート開発の進め方は。

九月二十二日から二十四日まで、二日間の会期で第六回町議会定例会が開かれました。
 十二日は、四人の議員による一般質問と、平成三年度水道事業会計決算を認定し、町印鑑条例の全部を改正する条例を可決しました。

二十四日は、一般会計補正予算ほか四件の補正予算を可決。「農業農村整備費予算の拡大に関する意見書」ほか一件の意見書を可決しました。
 十二日に実施された一般質問の概要を中心にお知らせします。(質問順に掲載)

- (2) 仙田地域を中心に、山村滞在型として整備してはどうか。
- (3) 町全体を滞在型リゾートとして整備し、変化に富んだものができないか。
- (4) これらの施設整備に、県ふるさとづくり戦略推進資金の利用や、過疎法の適用はできないか。
- (5) 大資本の導入に頼らない資金の調達方法を研究して推進する方向が打ち出せないか。

南 雲 町長

- (1) 最近の景気の落ち込み、環境問題などによる開発の減速傾向や、先進地事例に見る地域振興の面での期待薄という反省点などを踏まえて、これからのリゾート開発は地域と共存するリゾートづくり、住民参加による

地域独自の視点からのリゾートづくりが最も大事な要素である。さらに、地域の活性化を促す事業として何ができるのか、どうあるべきかといった面についても検討を加える必要があると考えているところである。
 (2) 地域の開発、振興は、そこに住む人たちが自ら地域に根ざした発想の中で真剣に取り組み、盛り上がっていくことが肝要である。

そのためには、地域の人たちを中心にして、地域開発を専門とするアドバイザーの意見・指導を取り入れながら、仙田地域が持っている有用な資源を有機的に結び付け、「この地域で何をやりたいか、どんなことならできるか」というあたりから、地域の皆さんの意識の掘り起こしを始めたかと考えている。
 (3)(4)(5) 町でも、松葉荘を核として、使用可能な既存の観光、

レジャー施設がいくつかある。これらの観光資源を大切にして、逐次付加価値を付ける整備を進めていくことが必要であるし、特色付けたルート設定、大型リゾート地と連携した観光ネットワーク化を検討することも必要であると思う。
 これらの事業に対する国などの支援措置として、県のふるさとづくり戦略推進事業もその一

渋海川を魚のすめる川に

金子 澄男 議員

土木工事などによる河床の土砂の体積、汚染などによって、魚が住みにくくなっている渋海川。この川を広域的な取り組み

つであるし、過疎法に基づく補助事業や過疎法の適用を受けることも可能である。
 地域づくり、地域開発については、町民の皆さまの意識の盛り上がりが必要である。地元資本の積極的な参加も含めて、地域の方々からのご意見、アイデアなど、積極的に寄せいただくことを願っている。

で魚道を作り、魚の住める川とすることができないか。
 また、渋海川を活かした流域の開発について考えを伺いたい

南 雲 町長

昨年度、沿線五町による渋海川サミットが開催され、改修整備の諸問題を提起した。また、ことし五月には、渋海川改修促進期成同盟会を発足させ、事業費の大幅増額の強力な運動を展開しているところである。この期成同盟会において連絡・検討しながら、整備促進を図ってきたい。

また、渋海川流域の開発については、そこに核となる施設があつて、そこで地域資源を活かしていく方向で開発を進めなけ



仙田郷子ども村での渋海川下りの一コマ(7・28)



ナカゴグリーンパークで行われたリゾート縦断ゲーム大会(3・8・24)

ればならない。そのためには、
洪海川は重要な活用資源である。
川を活かしてそこに住む人、

そこを訪れる人たちが安らぎを
実感できる施設整備をする親水
事業や、フィッシングゾーン、
オートキャンプ場などを取り入
れた、町づくり砂防関連事業に

水路トンネル水対策の進展は

戸田哲次 議員

① JR水路トンネルに起因す
る、飲料水の水源確保のその後
の進展と見通しは。

また、すべての水対策に係る
施設の将来的維持管理など、負
担の問題をどう進めるか

② 流雪構整備計画の今後の取
り組み方を

南雲町長

① これまでの試掘、本掘を含
めた結果から、水源は二本の深
井戸と、新たにもう一本の深井
戸により、目標取水量の確保を
図ることとした。しかし、この
水質については鉄分、マンガン
分が多く含まれており、その原
因が、地中におけるアンモニ
ア窒素濃度が異常に高いという
ことで、平常の塩素滅菌では浄
化しきれない。高度ろ過処理施

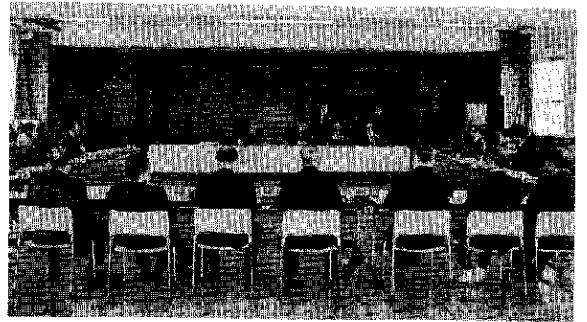
による憩いの広場施設造成も可能
のようである。

いずれの事業を取り組むにし
ても、仙田地域にこうした事業
の導入が可能かどうか研究し、
今後の仙田地域の開発、振興を
検討してまいりたい。

設が必要という結論に達し、大
筋でJRとの交渉もその方向で
検討しているところである。

もちろん、そういう施設をす
れば、それだけ余計な維持管理
費が必要になることから、それ
ら含め交渉を進め、工事の方も
並行していくことになる。今後
の推移を見守り、安定した飲料
水が供給でき、維持管理費も負
担が軽くなる方式で実施してい
きたい。

また、農業用水、雑用水につ
いては、維持管理をする主体に
補償が支払われるという原則を
ふまえて、契約の相手方双方で
これから交渉を詰めていくこと
になる。町または立会者として
積極的に取り組む所存である。
克雪用水については、減水と
水路トンネル工事との因果関係
を立証することは難しく、結論
に到達するまでには、まだかな



JRと土地改良区との調印式
(3.11.16 総合センター)

りの時間を要する。しかし、消
雪パイプ補元の流雪構計画の水
源確保のため、なんらかの形で
JRからも理解と協力が得られ
るよう重ねて交渉していきたい。

② 平成三年度において、東部
地区河岸段丘地の全地域を対象
にした、流雪構整備事業の全体
計画書を作成した。

この流雪構整備事業を実施す
るには、水源の確保が最優先さ
れなければならないということ
から、その水源を川西ダムを中
心とした四つの農業用ダムに求
めることで準備を進めている。

効果的な補助事業を検討した
結果、農水省所管の県営水環境
整備事業を導入できる見通しで
あり、本年度事業採択申請、同
時に水利権取得申請の手続きも

している状況にある。しかし、
水利権取得については、農水省
と建設省の協議が必要のため、
時間が必要になるのではないかと
思っている。

事業実施計画については、平
成五年度までに事業採択及び実
施設計を完了。工事は、六年度
から十二年度までの七年間で実
施する計画で、区域は千手地区

川西米の有効販路の確立を

押木 貢 議員

行政の主導で他機関に積極的
な働きかけをし、川西米の有利
な販売路線を確立することに
ついて、町長の考えは

南雲町長

コメの生産・流通に、全国各
地では様々な流通・販売方法が
試みられているところである。
そのため、行政の主導で積極的
な働きかけを」ということにつ
いて、私は、生産者と農業団体
及び行政とが合意形成を図り、
一体となって取り組んでいかな
ければならない問題だと思っ
ている。

現時点では、行政は食糧管理
法を守らなければならない立場
であり、農協は系統組織から外

市街地を除いた一部、上野、橘
地区を予定している。残りの千
手地区については、特定環境保
全公共下水道事業で対応できる
かどうか検討中である。

私どもとしては、流雪構の管
理運営についての問題を合わせ
て検討し、地域の皆さま方のご
賛同を仰ぎたいと考えている。

れるわけにはいかないことをこ
理解いただき、消費者ニーズや
市場の動向を常に注視し、川西
米の有利販売をみんなで出し合
って、考えていかなければなら
ないと思っている。



生産組織などを集めて開かれた米市場開放
阻止大会(3.29 農協本所)

名誉町民 児玉画伯が逝去



伯が、九十四歳の天寿を全うされ、永眠されました。

児玉画伯は、明治三十一年四月、新潟県中魚沼郡吉田村(現在の十日町市稲葉)の旧家児玉家に生まれました。大正六年、津端道彦画伯の住み込み書生として土佐派の画道を学ばれ、昭和二年、第八回帝展に入選。以来、

数多くの栄えある受賞に輝いたほか、昭和十二年、日本美術協会

無鑑査となる第一部委員、審査員となられ、昭和四十二年には、日本画院創設会長としてその卓越した手腕を発揮されました。

町においては、千手観音堂に、昭和四十年以来五か年の歳月を費やされた壁画二十点、格天井百八十二枚、観音堂回廊に三十三観音と七福神の額四十枚、仁王門格天井画三十六歌仙の詩人、

町の木・鳥・花など四十二枚が

納められています。また、町にご寄贈の六曲屏風十六双、帝展入選画「祇王」の大軸は、町の財産として諸行事に展示され、地域文化の興隆に大きな貢献をなしています。

川西町では、このご功績が社会文化の進展に貢献し、その事績卓絶で町民の敬仰を受けるとして、昭和五十一年川西町名誉町民の称号をお贈りしました。

ここに、故児玉輝彦画伯のご功績をたたえ、心よりごめい福をお祈り申し上げます。

児玉画伯にお別れする会のお知らせ

次によりお別れ会を行います。

◎日時 十月二十一日 午後一時

◎式場 川西町総合センター

◎主催 川西町

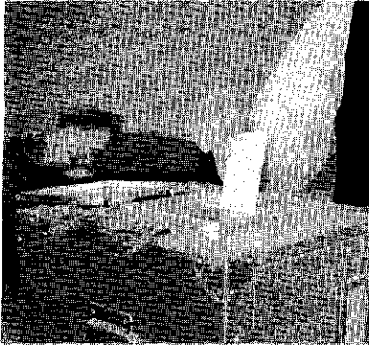
一般町民の皆さんは、午後二時から四時までの間は、大ぜい参列され、故人のごめい福をお祈りいただきます。

新潟県知事選挙

投票日は十月二十五日

投票所の一部が変更

十月二十五日執行の「新潟県



忘れずに投票しましょう

知事選挙」は、投票所の一部が別表のとおり変更になります。投票においでの際は、入場券をもう一度お確かめください。お間違えのないようお願いいたします。

不在者投票は

投票日にやむを得ない所用な

します。

どで投票所に行けない人は、投票日の前日(10月24日午後5時)まで不在者投票をすることができます。

毎日、午前8時30分から午後5時まで、地域活性化センター(役場裏)4階で受け付けています。

印鑑を忘れずにお持ちください。

投票区	投票場所	区	域
第一	川西町総合センター	四郎兼 東善寺 上町 中央町 田中町 神社町 学校町 中屋敷 寺尾 木島 沖立	
第三	南原保育園	伊友 高原田 坪山 霜条 鶴吉	
第八	川西町高齢者コミュニティセンター	塩辛 仁田 野口 四十歩	

住民課「福祉係」を「社会福祉係」「高齢福祉係」に拡充

住民課では、10月1日から、今までの「福祉係」を「社会福祉係」と「高齢福祉係」の2係に区分し、福祉業務を一層拡大するため、機構を一部改革しました。

「社会福祉係」は、往來の「福祉係」の業務を担当し、「高齢福祉係」は、在宅老人福祉と老人福祉施設に関する業務を専門に担当します。

敬老の日

八四九人に

敬老祝い品を贈る

総務庁は九月十四日、十五日

現在のわが国の高齢者人口推計値を発表しました。それによると、六十五歳以上のお年寄りは約一、六二二万人で、総人口の十三%を占め、人口、割合ともに過去最高を記録したとされています。また二〇二〇年(二十八年後)ごろには現在の二倍近い三、〇九七万人となり、ほぼ四人に一人は六十五歳以上の高齢者になると推計されています。

老人週間(九月十五日～三十日)にちなんで、町と県から七十五歳以上八四九人に、敬老祝

い品が贈られました。

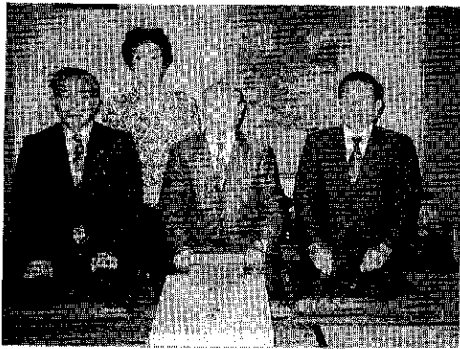
なかでも、八十八歳(米寿)二〇人、九十歳(卒寿)一三人、九十五歳二人に、町長、助役が各世帯を訪問して、直接祝い品をお渡ししました。

国や地方公共団体では、これまでにも増して老人福祉対策を推し進めなければならぬことはもちろんです。しかし、それと同時に、国民一人ひとりがこの問題を真剣に受けとめ、老人福祉の推進に協力していくよう心掛けていきたいものです。



清水

(90歳・寺尾)



丸山宗太郎さん

(90歳・下原)

川西町長寿番付

(敬称略)

平成4年9月14日現在

東					西				
氏名	住所	生年月日	年齢	番付	氏名	住所	生年月日	年齢	番付
小川 駒治	岩瀬 瀬	明治27.10.20	97	横綱	田村 チカ	赤谷 谷	明治29.5.30	96	
平野 キイ	上町	29.10.24	95	大関	高橋 コノ	学野 校	29.11.20	95	
村山 庄八	高原 田	30.1.23	95	関脇	北村 コク	山原 野	30.4.10	95	
井川 ツユ	新町新田	31.3.7	94	小結	須藤 トメ	上野 田	32.5.16	93	
小林 トキ	新町新田	32.7.18	93	前頭	上村 米作	上野 島	32.7.27	93	
野上 ヤス	栄町	32.11.9	92	2	星村 名ハ	木野 島	33.3.5	92	
若山 ミツ	新町新田	33.4.1	92	3	村山 ママ	新町新田	33.5.12	92	
市川 トウ	田中町	33.8.13	92	4	長谷川 久治	大倉 倉	33.8.25	92	
丸山 タイ	東善寺	33.11.20	91	5	登坂 サヨ	大岩 瀬	33.11.22	91	
星野 ムメ	野口立	34.1.20	91	6	半田 源治	室島 立	34.2.5	91	
星名 徳蔵	沖立島	34.3.16	91	7	数藤 クラ	沖立 立	34.3.25	91	
高橋 トシ	木室島	34.3.29	91	8	数田 寅タ	沖木 落	34.4.3	91	
高橋 トク	坪山倉	34.6.5	91	9	宮小 海	山野 田	34.9.27	90	
高橋 トク	坪山倉	34.10.16	90	10	宮小 海	山野 田	34.12.18	90	
田中 口ウ	小倉落	35.1.10	90	11	小幡 政晴	小仁 田	35.1.11	90	
田中 福松	小倉落	35.1.16	90	12	小幡 政晴	小仁 田	35.2.14	90	
押水 福サ	元寺尾	35.2.25	90	13	高橋 嘉吉	坪中 町	35.3.13	90	
清水 福サ	元寺尾	35.4.20	90	14	高橋 嘉吉	坪中 町	35.5.11	90	
五十川 ミキ	学校町	35.5.20	90	15	酒南 雲	田中 町	35.7.7	90	

住民の声に耳を傾け、行政に生かす

国では、十月十一日～十七日(新潟県は前後一週間を含む)を「行政相談週間」とし、相談活動の一層の展開を図ることとしています。

行政相談は、国民の行政に対する苦情や意見、要望を受け付けて、その解決や実現の促進を図る制度です。総務庁が所管し、県では行政監察事務所があり、市町村では行政相談委員が設置され、相談に応じています。

また、行政サービスの向上を目指した改善意見、要望にも対応し、「さわやか行政」に努めています。

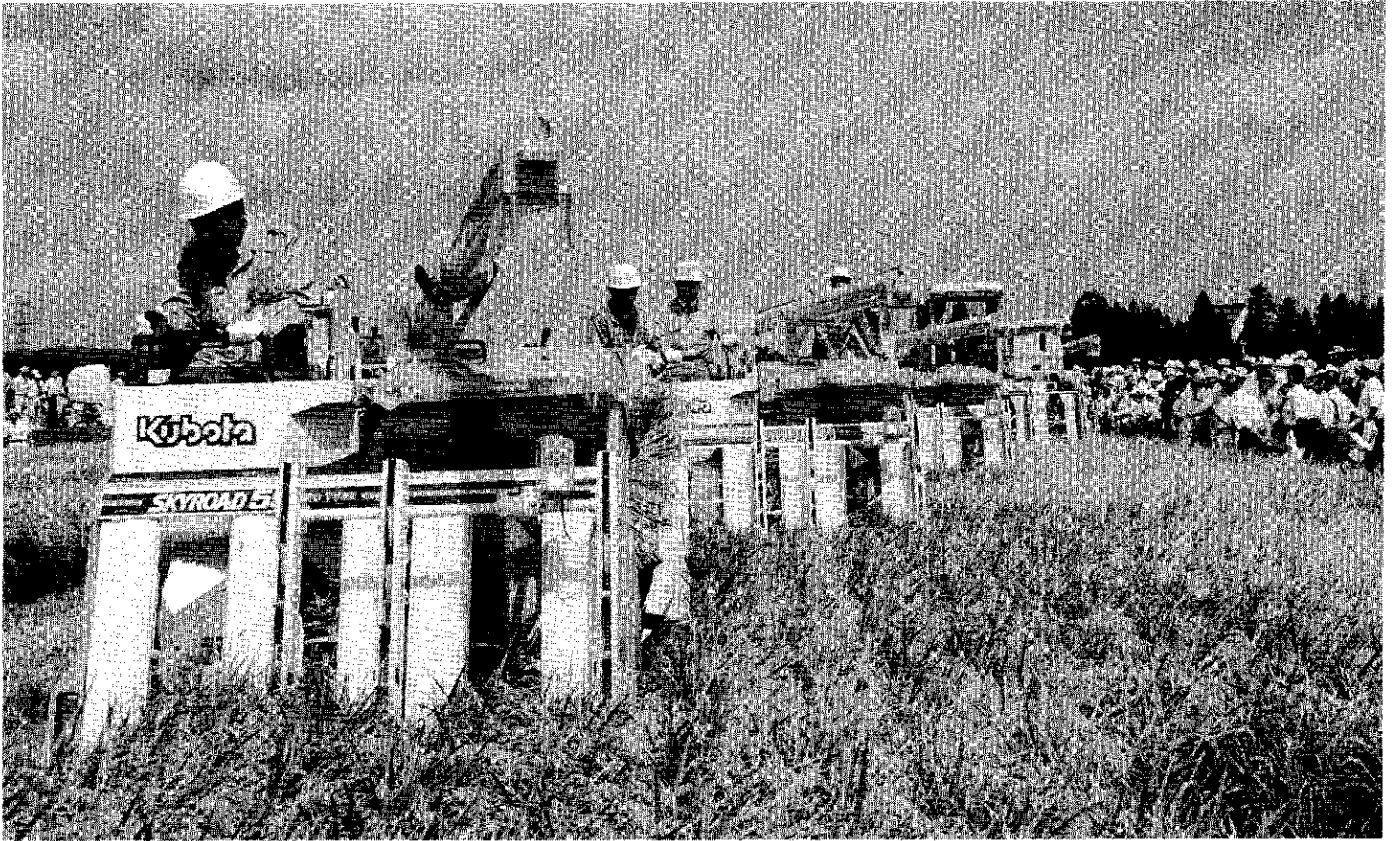
例えば、道路・住宅・医療保健・交通安全・環境衛生などについて、◎役所の処理が間違っていると思う◎説明が納得できない◎どこに申し出たらよいかわからない、というようなことに応じるのがこの制度です。

なお、週間に合わせて、次のとおり行政相談が開かれますので、お気軽にお出かけください。

10月18日(日) 町大雪センター
25日(日) 町総合センター

(時間は、午後一時～三時まで)
相談委員は、須藤秀雄さん(高原田)です。

新潟米「みのりの秋 フェスティバル」を実施



厚地県知事職務代理や南雲町長らが、コンバインによる記念刈り取りをしました

九月七日、町総合体育館と体育館に隣接するほ場で、平成四年度「新潟米」みのりの秋フェスティバル（「新潟米」低コスト、安定生産・供給推進運動委員会、町、川西農協主催）が開かれました。

この催しは、新潟米生産に対する意識の高揚を図るとともに、消費者の理解と関心を深めようというもので、県がフェスティバルとして実施をしてから、こ

として四回目となります。総合体育館で実施された第一部では、厚地県知事職務代理や南雲町長ら関係者をはじめ、町内の五年生二二五人とその父兄一般町民などおよそ一、〇〇〇人が参加しました。

歓迎のあいさつで南雲町長は、「昨年度の日本農業大賞受賞に続き、今回県民総ぐるみの会場をお引き受けたことは、町農業誌に残る快挙である。これを機会にさらに低コストや安定基盤に心掛け、日本一の米を消費者に届けた」と決意を述べ、厚地県知事職務代理は、「農業は新潟県にとって基幹産業の一つであり、県民生活を担う大きな役割を果たしている。米をめぐる社会情勢は厳しいものの、日本農業大賞に輝いた生産組織をバックに、川西町が県農業の

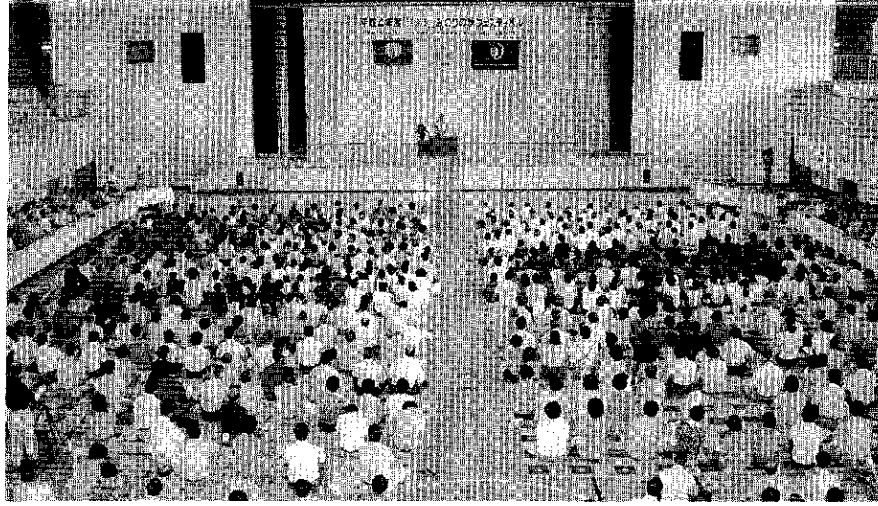
先導的役割を果たしていただけることを期待したい」と激励しました。

続いて地元の生産組織を代表して、山岸真治さん（霜条）が組織の活動を紹介し、生産組織連絡協議会の丸山定忠会長が決意のことは述べました。また、消費者を代表して小海貴代美さん（神社町）が、激励のことは述べました。

第二部では、体育館に隣接するおよそ六十アールのほ場で米寶、関係者、小学生が黄金色に実った「ゆきの精」を手刈りで記念刈り取りを実施。そのあと厚地県知事職務代理、南雲町長らがコンバインで記念刈り取りをしたあと、地元生産組織がコンバインで刈り取りの実演をしました。

また、このフェスティバルの昼食として、地元コシヒカリ二俵で作ったおにぎり二、〇〇〇個と、豚汁一、〇〇〇人分を用意。参加者に振る舞われました。「ゆきの精」は、多収で食味、品質とも優れた新品種として平成元年に開発。二年度から一般に栽培されるようになりました。今年度県下では一万九、〇六五ヘクタール、町でも約七〇ヘクタール（町の作付け面積の約七〇％）が作付けされています。

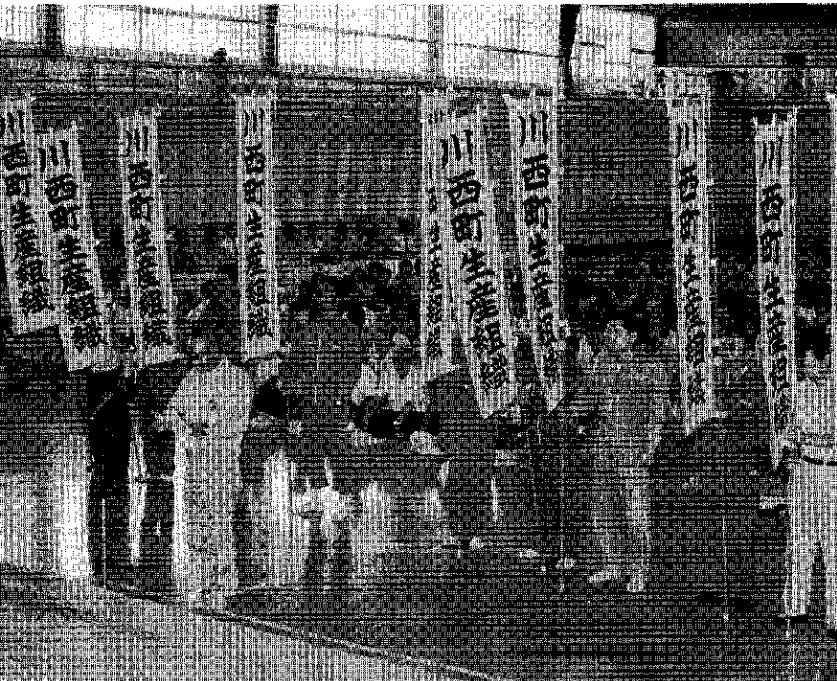
盛大に「『



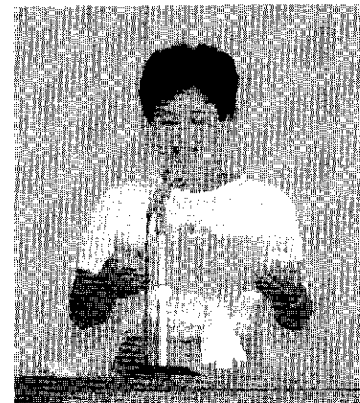
▲「新潟米」低コスト、安定生産・供給推進に向けて、第一部の式典が実施されました



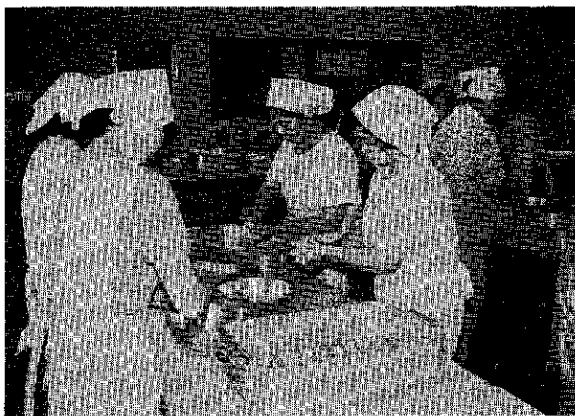
▲手刈りによる刈り取りを済ませた厚地県知事職務代理



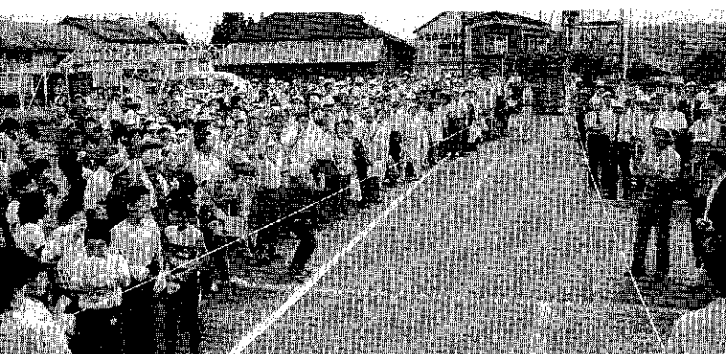
◀地元生産者代表が、組織の旗を持って整列するなか、代表して丸山さんが決意のこたばを述べました



◀消費者を代表して激励のこたばを述べた小海さん



◀朝8時過ぎから、おにぎり作りが始まりました



みんなで楽しく○×クイズに挑戦



参加者が見守るなか、関係者が手刈りによる刈り取りをしました

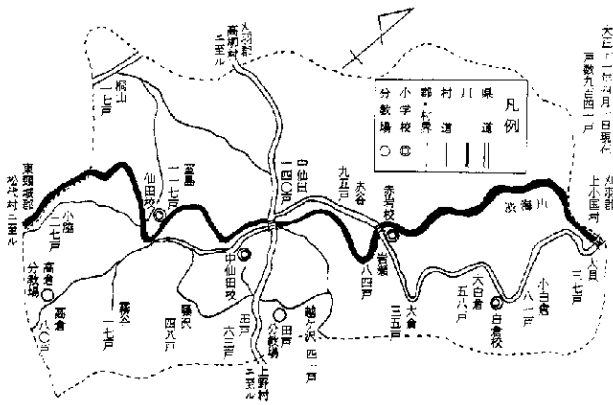
仙田村の学校問題③

岩瀬金子幸作

二校の新築に反対

澁海川に沿って十五の集落が散在する仙田郷は、古来、交通に便を欠いたことから学校の数も多くなり、学制頒布の後は教育に力を注いできた平穏な村であった。その仙田村が明治後期から高等科の併置問題でもめ、大正十年代に入ると、室島と中仙田の学校改築でまたもめて村中が重苦しい空気に包まれた。

両校の同時改築に異議を唱えたのは、よその学校が新築されても自分たちの利益につながら



仙田村図

ない高倉、白倉と田戸校区を中心とした有志で、この人たちが反対の理由をまとめて村会へ次の請願をした。

世界大戦後の余波をうけて米価が下落し、蚕糸も暴落しているが肥料代や税金は高く、農家は生活費がかさんで困窮している。かかるおり、教育のためとはいえ、学校を二つも同時に改築する村会の決議は村民の意向を無視した暴挙で容認するわけにいかない。ここ当分は室島と中仙田の学校新築を見合わせ、村民の生活安定をはかつてほしいことを強く要望する。

請願が無視されて

村会はこの請願を審議して意見を出したが、激増する児童を収容するために止むを得ないからと請願を退け、さきに議決したとおり二校を新築すると回答した。激昂した村民は役場へ押しかけて議員につめ寄り、村会は混乱したが、議員のほかに各集落の有志を加えて協議会を組織し、代表から出された次の四項目を話し合つて事態

の收拾をはかることになった。
①二校を同時に改築する村会の議決を白紙撤回する。

②校舎が狭いため収容しきれない児童は、自分の間収容力のある学校に通学させる。

③将来は一村一校として教育の発展・充実をはかる。

④一校とした場合の統合校の位置は中央にこだわらず、全村的な視野に立って選定する。

夜ついで幾日も協議したが、どの要望も入れられないまま物分かれに終わり、有志たちは村民大会の開催を決意した。

村民大会で訴える

大正十年四月三日の午後、中仙田校と仙田校の同時改築に反対する村民大会が山沢口の薬師旅館で開かれた。この大会を主唱したのは、村会の決議に旗をひるがえした各集落の若いオヒニオンリーダーで、村民三百人が集まり、会場に入りきれない者が声を荒らげるほど熱気のこもる大会になった。

議事は押木豊作が開会宣言して始まり、江口進三が座長を勤め、齋木名賀吉が主旨を説明して次の事項が可決された。

①仙田校と中仙田校の同時改築を阻止するため、村民協議を結成して反対運動を推進する。

②会長に齋木名賀吉君、副会長に田中勝平君を推し、主旨に賛同する集落から実行委員若干人を出して会議を運営する。

③新築を決めた二校のうち、村会がどちらか一校を延期した時はこの会議を解散する。

血の雨が降るか

議事のあと、六人の若い衆が次の演題を掲げて賛成演説を行い、第一回の村民大会は大きな拍手のなかで幕を閉じた。

なせいま同時改築なのか(高橋惣八郎) 窮乏する村民の声を聞け(江口林蔵) 二校の同時改築は暴挙(川崎清作) 村

会の良識を疑う(高橋仁三治) 将来の学校統合(江口友治) 村民大会に訴える(田中勝平)

この日、二校建築反対の村民協議が組織されたことはたちまち村中に伝わり、「いまに血の雨が降る」などと尾ヒレがついて、険悪な空気がみなぎり、関係者は夜も眠れないほど神経をとがらせることになった。

学校が多すぎる

大正十年四月二十日の「十日町新聞」は、仙田村のこうした有様を次のように報じている。

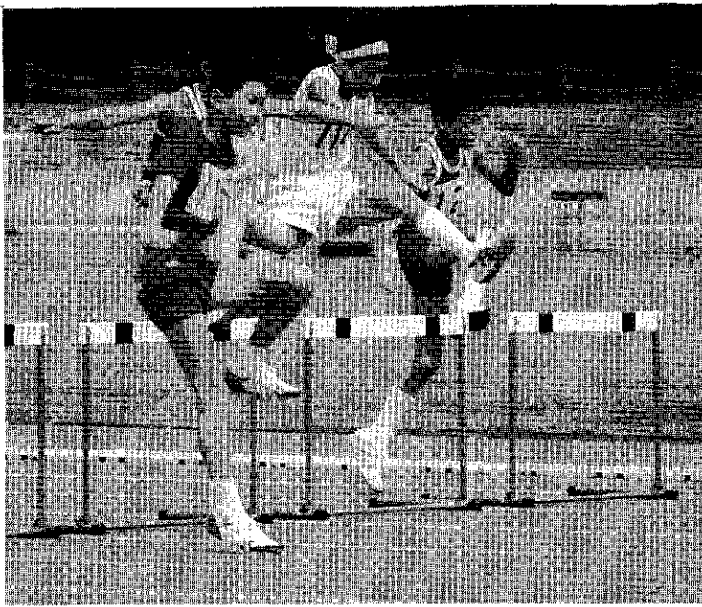
仙田村の如きは余りにも学校数が多く、何れも不完備にし

て充分なる教育を為し能はざるのみならず、而かも費用は之れが為に却つてかさみ、何時かな改善すべき要あるを村有力者間には互の都合を図り、各所に高等科又は実業補修の併置を妥協的に設置して増々村費を増すものあり。今回は更に村民の窮状をも顧みず二校を一時に改築せんとして、この額八万円を頭上より負はせんとするは寔に当を得ざる処置にして、現在では勿論村教育の将来に就いても大いに考慮を要すべしとの趣旨なるが如し。

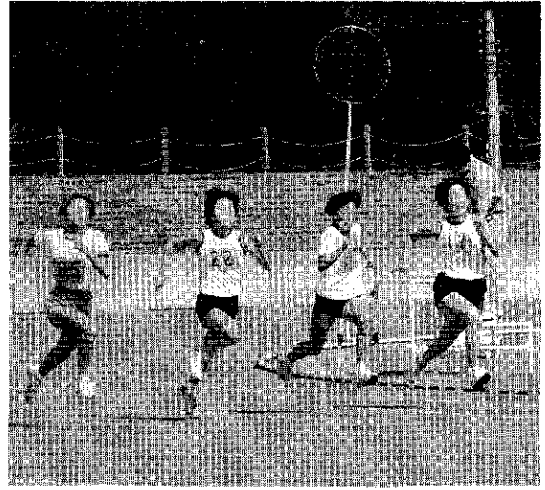
村当局は、村の体面上一度び決議したるものを変更するは忍びざる処として決行を期せんとし、夫々関係者との間に連絡あるもの、如なり。而かも最近に至りては、村会議員中にも延期に賛成を表するもの続出せんとする傾向なれば、この俟実行する事は却々困難なるべし。

殊に又室島に在りては、未だ敷地の位置さへ定かならざるとも伝へられ、問題は愈々紛糾の度を加へ、結局、今日の躍起は往時室島区の専横を憤りたること、旁々仙田村の全体より見て中央の中仙田に有力完備の高等小学併置校を置き、将来は交通の便を得るに随ひ、可成統一を期せんとするに在るもの、如し。

6年男子80メートルハードル予選



5年女子100メートル予選



第23回町内小学校 親善陸上大会 結果

9月16日、十日町市陸上競技場で、町内小学校(5～6年)親善陸上大会が開かれました。当日は、2種目で大会新記録が、1種目で大会タイ記録がそれぞれ生まれました。(※印＝大会新・タイ大会タイ)

【男子】

5年100メートル

- ①歳品哲也(千手) ②小林貴志(同) ③高橋和也(同)

6年同

- ①高橋智士(千手) ②田村 潔(同) ③柳 昌光(同)

5年80メートルハードル

- ①小林貴志(千手) ②大海真彦(同) ③登坂幸雄(仙田)

6年同

- 夕①平沢克広(千手) 夕②高橋智士(同) ③尾身尚也(同)

5年1500メートル

- *①丸山健士(橘) ②松崎 正(千手) ③田中邦宜(同)

6年同

- ①高橋 新(仙田) ②野沢貴宏(同) ③柳 昌光(千手)

5年走り幅とび

- ①大海真彦(千手) ②歳品哲也(同) ③田中邦彦(同)

6年同

- ①尾身尚也(千手) ②小野塚辰徳(同) ③秦野慎也(橘)

5年走り高とび

- ①吉楽拓哉(千手) ②佐藤正和(同) ③鈴木 健(同)

6年同

- ①村越祐介(橘) ②田村 潔(千手) ③田畑正樹(上野)

5年400メートルリレー

- ①千手A(大海真彦、高橋和也、松崎 正、小林貴志)

- ②千手B(丸山英明、鈴木 健、南雲昌裕、歳品哲也)

- ③ 橘(藤原弘生、水落信行、今井拓朗、丸山健士)

6年同

- ①千手A(尾身尚也、高橋智士、柳 昌光、田村 潔)

- ②千手B(平沢克広、丸山 渉、内山鉄兵、茂野 進)

- ③ 橘(野沢貴宏、村越祐介、戸田和樹、藤巻恵太)

【女子】

5年100メートル

- ①渡辺景子(上野) ②池竹祐子(橘) ③田中恵梨香(白倉)

6年同

- ①小林由子(仙田) ②丸山学美(千手) ③水落亜耶(橘)

5年80メートルハードル

- ①桐生かおり(上野) ②大久保麻紀(橘) ③田中菜月(同)

6年同

- ①清水彩子(上野) ②山岸さつき(千手) ③田中 藍(橘)

5年800メートル

- ①野沢佳代(橘) ②桐生かおり(上野) ③水品早絵(同)

6年同

- ①小林 優(仙田) ②小林由子(同) ③南雲裕子(千手)

5年走り幅とび

- ①渡辺景子(上野) ②野沢佳代(橘) ③村山祐子(上野)

6年同

- ①山岸さつき(千手) ②水落亜耶(橘) ③高橋三代子(上野)

5年走り高とび

- ①池竹祐子(橘) ②清水孝子(千手) ③田中美奈子(橘)

6年同

- *①清水彩子(上野) ②樋口裕美(仙田) ③小林真由美(千手)

5年400メートルリレー

- ①上野(桐生かおり、若山祐子、高橋理恵、渡辺景子)

- ② 橘(野沢佳代、戸田万里子、田中美奈子、池竹祐子)

- ③千手(尾身麻美、清水孝子、星名留美子、小野塚美紀)

6年同

- ①千手A(星名 泉、丸山学美、小林真由美、清水美江)

- ②上野(佐藤由梨、渡貫智子、高橋三代子、清水抄子)

- ③仙田(小林はるか、長谷川美幸、樋口裕美、小林由子)

図書室 だより

話題の最新刊書紹介

○寄り添って老後 沢村貞子

厳然と生きる八二歳の老いの
実感を綴る心豊かなエッセイ。

○ももこのしゃべりことば

さくらのももこの深夜ラジオ放
送の口調そのまま編集してある。

○人が好き

―私の履歴書― 瀬戸内寂聴

著者初の本格的自伝。加えて
わが文学の周辺と題して幅広い
交友録も併記されている。

○こころの手足 中村久子

三歳にして両手両足を失い、
困難を超えて生きた著者の自伝。

○高齢化社会あなたはどこに住

む NHK高齢化社会取材班
モーニングワイドで高い視聴
率をあげた番組の編集。老後の
すまいを、家庭やホーム、各市
町村で行っている老後の新しい
試みを実際に役立つ情報として
提供している。

○病院で死ぬということ

ホスピス科部長 山崎章男

人は九〇%が病院で死ぬ。だ
が今の病院は人間らしく死んで
いくのにふさわしくない場所だ
と、末期ガン患者の最期を看
きた著者の終末医療の現状を告
発した衝撃の書。

○風と炎と第一二部 堺屋太一

今や世界の隅々から限りなく
情報は集まる。しかし、現状を
知るだけでは将来は推し測れな
い。その現象の原因の中に共通
の原則を見つけ出そうと試みた。
全人類の課題に挑戦した意欲作。

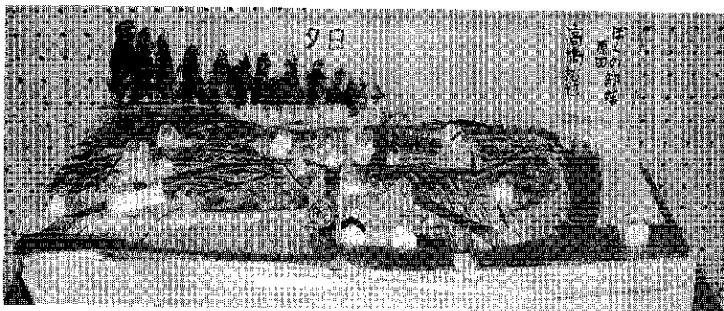
停電のお知らせ

10月12日 午前9時半～11時半
(月) 小根岸の一部

10月13日 午後1時～4時
(火) 仁田の一部
野口の一部

10月19日 午前9時半～11時半
(月) 仁田の一部
塩辛の一部

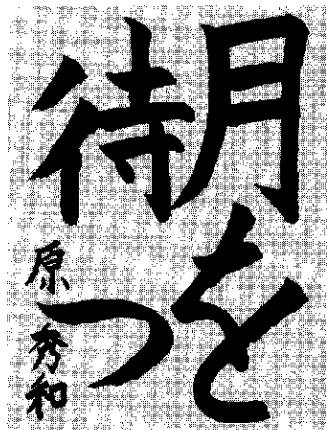
10月30日 午前9時半～正午
(金) 新町新田の一部



4年 高橋拓也 君



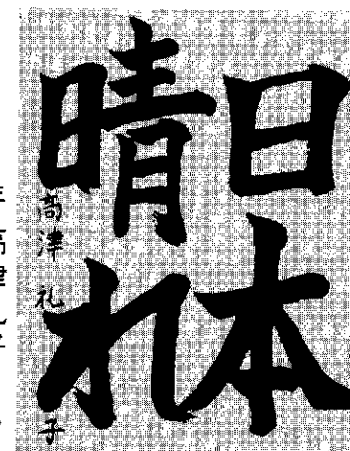
2年 羽鳥たけひろ 君



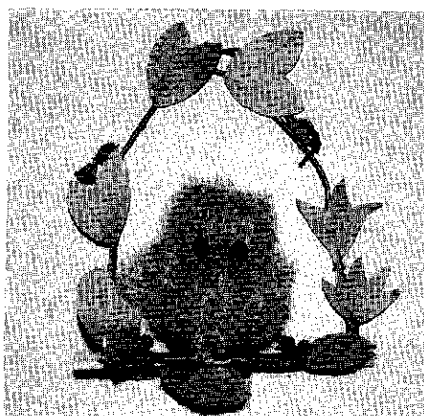
5年 原 秀和 君



1年 はとりなつきさん



6年 高津礼子 さん



3年 村越 恵 さん

ちいさな展覧会

橘 小学校

51

(11月号は仙田小学校です)

みこし制作で町内会が一つに

「祭りのみこしに来てみねえかのー」……、そんな連絡を受けて、千手祭り(九月五、六日)の六日に出かけてみました。

おじやましたのは中島町。手づくりのみこしに、新調したしるしばんてん・ももひき姿。はんでん、ももひきは紺地で、背中には川西中島町と、衾書きは名字や屋号の人っているもの。きりりと結んだはちまき姿の男女三十人ほどが、威勢のいい掛け声とともに、みこしを繰り出していました。

中島町では、毎年、大人樽みこしを繰り出し、祭りに参加していました。かつぐ人たちはも年々少なくなり、盛り上がりにも欠けていたそうです。

毎年、祭りの反省会の席では、



威勢のいい掛け声がかかります

「うちの町内でも、祭りをもっと盛り上げて、にぎやかにしたいもんだ」という意見が出ていました。しかし、いつも話だけで終わっていたとのこと。でも、去年の反省会では、女性も積極的に加わったこともあって、「みこしを作ろう」という話がまとまりました。また、その年の町内会の世話人だけにまかせっきりの体制から、みこし会も作るうと、共同して祭りを盛り上げようということになりました。

みこしは、設計から制作まで、すべて地元の人たちの手づくりによって進められ、四カ月ほどを費やして、りっぱな樽みこしを完成させました。みこしづくりに合わせて、しるしばんてんなどの衣装にも特色を出すため、東京の専門店を奔走したそうです。

「みこしづくりを通じて、町内に活力が出てきた。町内に残っている人も、嫁に行った人も、その関係者すべてが参加したくなるよう、盛り上げていきたい。このみこしづくりがきっかけで、いくつかの町内の活性化につながればありがたい」と祭りに参加した人たちは話していました。

衛生施設組合 職員募集

自動車運転手兼作業員 1人
申込受付 10月23日まで
(郵送消印も10月23日まで)

十日町市川西町衛生施設組合では、自動車運転手兼作業員一人を、次の要領で募集します。

受験資格
昭和27年4月2日から12年4

施設更生者更生施設「なかまの家」の職員募集
指導員(女性) 2人
調理員 1人
申込受付10月31日まで

精神薄弱者更生施設「なかまの家」では、指導員(女性)二人と調理員一人を、次の要領で募集します。

受験資格
①高等中学校卒業者で、昭和33年4月2日から48年4月1日まで

月1日の間に生まれた人で、大型及び大型特殊免許を所有していること。

試験の日時、場所及び方法

【第一次試験】

試験日 11月1日(日)

場所 十日町市保健センター
(市役所のとなり)

方法 作文

【第二次試験】

試験日 11月中旬

場所 十日町市役所

方法 第一次試験合格者に対して、面接試験をします。

申込書の提出

十日町市役所総務部総務課人事秘書係へ次の書類を提出して

に生まれた人

②中魚沼郡・十日町市内に住所又は本籍を有し、採用後は通勤可能な地域に居住できる人

③普通自動車運転免許を所有している人

試験の日時、場所及び方法

【一次試験】

試験日 11月1日(日)

場所 川西町地域活性化センター
ター(役場裏)

方法 一般教養試験と作文

【二次試験】

試験日 11月3日(火)

試験合格者のみ11月2日に別途通知

会場 川西町総合センター

方法 面接試験

採用日 平成5年4月1日

申し込み手続き

「なかまの家」(社)あかね会事務局に、次の書類を提出してください。

履歴書(市販のものに白筆)

卒業証明書(又は卒業見込み証明書)・成績証明書・免許証の写し

申込書の受付期間

10月31日まで(郵送の場合も同日必着)

問い合わせ先

「なかまの家」庶務課
(☎六八一四〇・三)

ください。

○採用試験申込書(役場環境衛生係、十日町市役所総務課、衛生施設組合にあります)

○卒業学校の成績証明書

* 来年三月卒業見込みの人は、卒業見込み証明書

○運転免許証の写し

採用日 平成5年4月1日

申込書受付期間

10月12日~23日まで(郵送消印は、10月23日まで有効)

問い合わせ先

役場環境衛生係(☎六八一三二)

一一 右線二二四二)又は、

十日町市川西町衛生施設組合事務局 (☎五一一二九二四)

方法 面接試験

採用日 平成5年4月1日

申し込み手続き

「なかまの家」(社)あかね会事務局に、次の書類を提出してください。

履歴書(市販のものに白筆)

卒業証明書(又は卒業見込み証明書)・成績証明書・免許証の写し

申込書の受付期間

10月31日まで(郵送の場合も同日必着)

問い合わせ先

「なかまの家」庶務課
(☎六八一四〇・三)

4.10.10

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

桑原 深安雄 長男新町新田
まゆみ

小林 大樹隆一 長男栄町
恵

小林 直登重則 三男木鳥
明美

高橋 実弥克己 長女高原田
みどり

蔵品あやか 茂昭 三女霜条
子

山村 健三65(信治) 鶴吉

羽鳥 芳蔵77(本人) 伊勢平治
清水 京平81(本人) 上町
数藤ムツ子81(栄一) 沖立

飛行雲細く流れて秋の空
上野 渡辺 朝

鍛で筋つけて野沢菜播きにけり
小白倉 田中 優美

今朝秋や千人風呂に人気無く
上町 高橋 頼似

大川と言われし川原芒原
下平新田 清水きよし

新米を炊きて祖先へ香たむく
中屋敷 数藤 壮一

白萩のゆる、バス停日射、つ、
仁田 小幡しん女

せ、らぎのきこえる湯宿秋ふかし
千手 長野 キミ

窓も戸も開け放たれて稲の花
元町 金子 鉄平

置く笠に羽休めたる赤とんぼ
八王子市 松浦 サク

戸の棧の松虫見つ、夕餉かな
上野 内山 寛平

朝寒や菊の芽を摘むひとしきり
小白倉 江口みゆき

つる草の竹にからまり紅葉して
野口 野沢 静江

彼岸花かたまり咲きぬ田のあぜに
綾瀬市 野沢ますえ

秋彼岸ひと日静かに菊活ける
野口 村越 由喜

大安に稲刈り始め空も晴れ
仁田 羽鳥 美穂

満天の星散りばめて虫の声
原田 根津とさ子

小林 ミヤ83(正明) 中仙田
南雲貞治郎87(隆三) 三領
高橋 カク89(俊男) 高倉
小幡 はつ90(正昭) 仁田
田口 タマ91(正敏) 木落

たかさご—ご円満に

小林 義文 山野田
島田 節子 津南町から

紅葉をかすかにゆらす稚魚の群
浦和市 登坂 博史

句稿練る夜の静寂肌寒し
岩瀬 小川 益栄

天高く太陽を背に山田刈る
野口 五十嵐トラ

新藁の匂い漂よう畦の道
中仙田 高野仙蒼子

虫声の絶えて林し秋の雨
足立区 駒形 頼太

こ、に來て河の瀬音と赤トンボ
寺尾 白井すみい

彼岸いり秋のかおりの栗ごほん
発電所通り 春日 ぶん

敷きつめし落葉の褥山眠る
霜条 大海 白涛

コスモスの色冴え秋の日向かな
神奈川県 金子 若江

汗ばみし背のつめたくて秋の風
上野 入沢 はや

庭の角彼岸の花の紫おん咲く
野口 村越 幸

敬老日子供の奉仕肩た、き
野口 村越 春野

丹沢の山を眺めて秋の晴
厚木市 川崎 保一

コンバイン稲囃みこみし籾を吐く
新町 井川 巨

黄昏がれてゆく畦道の蟬かな
木落 丸山 詩朗

萩の花散り敷く土の秋深し
仁田 戸田 貞子



かわなし 俳壇

太田白南風選

刈田焼く煙大きく広がりし
上野 星名 春子

鬼灯の倒れしままに色づけけり
岩瀬 登坂伊智子

あた、かき栗飯炊いて父の忌に
山野田 藤田ひろ志

出穂水をたつぷりかけて稲の花
新町 若山 向山

大根菜間引くは事のほか苦勞
練馬区 須藤 遊人

どくだみを吊りし軒場の秋日和
八王子市 田中 ひさ

物音の絶えて静かや星月夜
大倉 中条 石平

いわし雲段々となり夕茜
四郎兼 平野 恵春

丹精の菊の蕾の大きかり
高倉 齋木 和人

繰り返す残暑にはじけ鳳仙花
伊勢原市 金子 桂吉

稲屑の燃えゆく跡の黒々と
霜条 星名 星光

茸山も隠して霧の深さ哉
野口 野沢 寅生

かむことの重要性

「かむことが大切だ」と言われると、みんな「食事のときにかんでいらないか」と思う方が多いと思います。ところが、きちんとしゃべりかんで食事をしている方が、意外に多いものです。

かむことは、幼いときの育てられ方で決まってしまう。小さいうちからじっくりかむ練習をさせてやらないと、早食い、生かみ、早飲み込みの癖がついてしまいます。

かむ練習の手順を述べておきますので参考にしてください。

◎離乳のころ

ごっくん……生後五〜六カ月の離乳初期の指導でもぐもぐ……生後七〜八カ月の離乳中期の指導でかみかみ……生後九〜十カ月の離乳後期の指導で

◎園児・学童のころ

かむ回数を増やして、一口三十〜五十回くらいかむように仕向けてみてください。

かむことを正しく覚えさせるには、かみごたえのあるもので練習するとよいと思います。かみごたえのあるものイコール硬いものと考えてしまいがちです。しかし、かみごたえのあるものとは、繊維性のものと考えていただいたほうが適切かもしれません。野菜・果物・魚類・干物・穀類など、適切に硬さと、すくなくならない持続性のあるものがよいようです。

かむことは、あごの骨の正常な発達を進め、健康な美しい歯並びをつくります。また、肥満の予防、脳の発達やボケの予防などにも関係し、生涯にわたって影響を与えますので、正しくかむことを覚えてください。

